

令和 8 年度

「運営に関する計画」

大阪市立今津小学校

令和 8 年 4 月

1 学校運営の中期目標と達成状況

現状と課題

本校は、昭和43年（1968年）に創立され、今年度で59年目を迎える学校である。比較的歴史の浅い小学校ではあるが、地域から深く愛されている学校であり、「健康で明るく自主的に」の校訓のもと、未来を生き抜く子どもたちのために教育活動を展開している。

本校の児童は素直で、様々な学習活動に対しひたむきに取り組む態度が見られる。昨年度は国語科を研究教科として基礎学力の定着に重点を置き、小学校学力経年調査において標準化得点1.01を達成するなど、目標を上回る成果を上げることができた。また、非常に広い運動場を活用し、計画的に体力・運動能力の育成を進め、自律的に体力を高める取り組みも継続している。

令和8年度は、令和11年度末評価に向けた新たな「大阪市教育振興基本計画」にかかる取り組みの初年度にあたる。本市が掲げる施策目標の達成に向け、本校においても教育目標を「豊かな心で自ら行動し、思いやりのある子どもを育てる」と定め、【安全・安心な教育の推進】【未来を切り拓く学力・体力の向上】【学びを支える教育環境の充実】の3つの最重要課題の観点から、さらなる教育活動の充実を図る。

昨年度は中期目標に対する総括の年度であった。その成果と課題を真摯に捉え、今年度は新たな中期計画のスタートとして、学習や学校生活における規律の徹底、自尊感情や他者を思いやる心の育成、不登校児童に対するきめ細やかな支援など、本校が直面する諸課題に対し、教職員全体で一貫性のある取り組みを推進していく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和11年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。

→令和7年度結果、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する児童の割合は **87.8%**

○令和11年度の学校生活アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。

→令和7年度結果、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する児童の割合は **88.0%**

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和11年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、いずれの学年も101以上にする。

→令和7年度結果 3年生→**103.1** 4年生→**101.1** 5年生→**100.3** 6年生→**101.3**

○令和 11 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点を、男女とも令和 7 年度より 3 ポイント向上させる

令和 7 年度結果(全国平均は 50 ポイント) 男子→**51.2** (+1.2) 女子→**47.3** (-2.7)

→令和 11 年度末結果 男子は 54.2 女子は 50.3 ポイント 目指していく

【学びを支える教育環境の充実】

○令和 11 年度の学校生活アンケートにおける「授業がわかりやすい」の項目において「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を 95%以上にする。

→令和 7 年度結果、「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と回答する児童の割合は

93.0%

○教職員の働き方改革を進め、令和 11 年度において教職員の全員が毎月の時間外勤務時間 30 時間以下となるようにする。

→令和 7 年度 1 月現在 達成率は **93.75%**

2 中期目標の達成に向けた令和 7 年度年度目標(全市共通目標を含む)と達成状況

【安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 80%以上にする。

→令和 7 年度結果、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合は **85%**

○小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。

→令和 7 年度結果、肯定的な回答する児童の割合は **84%**

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.04 ポイント向上させる。

→令和 6 年度における対全国比は 0.97 であり、令和 7 年度は対全国比の目標は 1.01。

結果、4 年生→**+0.05**、5 年生→**+0.04**、6 年生→**-0.02**

○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対し最も肯定的な回答をする児童の割合を 67%以上にする。

→令和 7 年度結果、最も肯定的な回答をする児童の割合は **66%**

【学びを支える教育環境の充実】

●授業日において、児童生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業日の50%にする〔ただし、学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕

→令和7年度 **2日**

※平均活用率については令和6年度 **52.8%** → 令和7年度 **60.2%**

○年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。

→3月末全教職員が取得

3 昨年度の自己評価結果の総括

令和7年度の「運営に関する計画」は、大阪市教育振興基本計画に基づき、【安全・安心な教育の推進】【未来を切り拓く学力・体力の向上】【学びを支える教育環境の充実】の3つを最重要課題の柱として推進した。今年度は中期目標の最終年度として、これまでの取組の集大成と次期計画への接続を念頭に教育活動を展開した。

今年度の教育活動を振り返ると、教職員が児童一人ひとりと丁寧に向き合う姿勢を堅持したことで、多くの年間目標で「目標達成（B評価）」以上の成果とした。特に児童が落ち着いて学習に集中できる環境が定着し、主体的かつ伸びやかに個性を生かす教育の充実が図られたことは大きな成果である。

【安全・安心な教育の推進】 いじめの未然防止や早期発見に向けた組織的な取組を継続した結果、学力経年調査におけるいじめ否定（「いじめはいけないことだ」）の肯定率は85%に達し、目標の80%を上回った。また、自尊感情を測る指標（「自分にはよいところがある」）も84%（目標75%以上）と良好な結果を示した。たてわり班活動などの異学年交流は年間を通じて活発に行われ、高学年としての自覚の芽生えや、他者を思いやる心の育成に大きく寄与した。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】 国語科を中心とした授業研究を全学年で実施し、児童が主体的・対話的に学ぶ環境を整えた。学力経年調査の標準化得点は全学年で100を超え、基礎学力の定着が確認された。体力面では、「夢・未来」創造事業の活用や「なわとび週間」等の全校的な取組が奏功し、運動に親しむ態度が育まれており、全国体力・運動能力調査の体力合計点が男女とも令和3年度比で大幅に向上した。

【学びを支える教育環境の充実】 ICT活用においては、学習者用端末の活用率が60.2%まで上昇し、昨年度から7.4%の伸びを見せた。新端末の導入に伴い、情報の共有や家庭持ち帰りの実施も進んでいる。教職員の働き方改革も進展し、年次有給休暇10日以上の取得率は94%に達した。行事の精選や「ゆとりの日」の設定により、時間外勤務時間は昨年度より減少しており、健康で活力ある組織づくりが実を結んでいる。

令和7年度は中期目標の達成を見据えた計画的な教育活動が展開され、児童の安心感と学びの意欲を高めることができた。次年度に向けては、これまでの成果を維持しつつ、さらなる基礎学力の向上やICTのさらなる有効活用、そして児童がより主体的に活動できる場の工夫に注力していく必要がある。（令和8年2月末現在）

大阪市立今津小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における、「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が学校に対して安心感を持って登校ができるように、学校での活発かつ主体的に挨拶ができるように指導を行う。また、不登校の児童や家庭に寄り添うとともに、学校全体で情報の共有に努め、複数の教職員でかかわることができるようにしていく。 児童の規範意識を高めるため、「学校安心ルール」や「学校生活のきまり」を教職員で共通理解し、児童・保護者に周知徹底する。また、児童会や委員会の活動の一環として啓発活動を行う。看護当番による児童の見守りと児童の実態に応じて、全校朝会や朝の会・終わりの会などで、ルールやきまりの意義などについて説明するとともに、教職員が相互に連携を図りながら平素の指導を行う。 相手の思いや考えを理解しながら話を聴き、相手の気持ちに立って自分の思いや考えを伝えることによって、児童は受け入れられていることへの安心感や充足感を実感するようになる。このような受容的・共感的な態度を基盤とし、児童と教師、児童同士のより深い信頼関係のある集団づくりに努める。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 「あいさつ週間」を学期に1回設定し、その都度児童会を中心に全校で振り返りを行う。 不登校対策委員会を適時実施し、複数の教職員で状況を把握するとともに、年に複数回教職員全体で情報を共有する機会を設ける。 生活指導部会を毎月1回開催し、各学級・学年の状況を共通理解しておく。 児童会や運動委員会による児童への呼びかけを年3回以上実施する。 月に1回、朝会や集会等で、生活指導上必要なことを全体へ周知する。 年3回以上、「学校生活のきまり」を学級で指導するとともに、年間を通して各教室に掲示する。 	
<p>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の自己有用感や自尊感情を高めるため、係・当番活動や委員会活動など、学校生活の様々な機会ですべて一人一人に活躍の場を与えることにより、児童が集団の一員として自分の役割に気づくようにし、見守り、やり遂げさせ、達成感を味わわ 	

大阪市立今津小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 84%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員全員が授業研究をする。 ・学力向上サポート訪問や、外部講師等を有効に活用し、教員の指導力向上及び国語科において児童が意欲的に読み取り、対話を通して、自分の考えを広げ深める力を培えるようにする。 ・発達段階に応じた授業の計画を立てる。 ・場に応じた話型を掲示することで、学びやすい環境を構築する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の研究主題に基づいた授業を、全学年年1回ずつ実施する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生以上の学年は、金曜日を「自主学の日」と設定し、自主学習習慣の定着を図る。 ・考えの広がりや深まりを生む対話の指導により、意欲的に学ぶ子どもを育てる。 ・自主学習ノートを、毎月1回掲示したり、ファイリングをしていつでも見られるようにしたりして家庭学習に生かせるよう工夫する。 ・週2回の朝の「読書タイム」の時間を設定し、学年に応じた学級文庫の活用を行うことで、多くの書物に出会い、読む習慣を身に付けられるよう工夫する 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「国語の勉強は好きですか」の項目において肯定的な回答をする3年生から6年生の平均を前年度より5%以上上昇させる。 	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育科の授業では、個人やグループのめあてを明らかにし、目標をもって運動に取り組めるように指導の充実を図る。 ・かけ足週間やなわとび週間などの全校的な取り組みを定期的に行い、より多くの児童が運動に親しめるようにする。 ・スポーツへの興味関心を高め、楽しく運動に取り組むことができるように、鶴見区役所の「夢・未来創造事業」等の出前授業に取り組む。また校内において、各学年で、スポーツイベント（団体競技）を計画し、実行していく。 	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを作成・活用し、それを学年ごとのファイルに、単元ごとにファイリングし、次年度以降にも引き継ぎ活用していく。 ・学年ごと、学期に一回以上、出前授業や合同体育等のスポーツイベントを設ける。 	
<p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食の前や、体育・遊び・掃除・トイレの後の手洗いへの意識を高め、それを習慣化できるように啓発していく。 ・学年に応じて、栄養に関する正しい知識の定着を図る。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗いへの意識の向上を図り、習慣化できるように、学期に1回、手洗い強調週間を設定する。 ・栄養教諭による栄養指導を各学年2回以上行う。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【取組内容①】</p> <p>【取組内容②】</p> <p>【取組内容③】</p> <p>【取組内容④】</p>	
<p>次年度にむけての改善点</p>	
<p>【取組内容①②】</p> <p>【取組内容③】</p> <p>【取組内容④】</p>	

大阪市立今津小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p>○教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の情報活用能力を高め、対話的で深い学びを進めるために、児童が学習者用端末を活用できる活動や機会をつくる。 ・授業でICTを効果的に活用できるよう努め、校内での情報共有を進める。 <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学級にて学習者用端末内「まなびのポータル」を週に複数回活用する。 ・学習時・朝の学習タイム等において、「ナビマ」をはじめとする学習アプリを週に複数回活用する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保中心に・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の心身の健康を維持し、児童の学びを深めるため、ゆとりのある職場環境を整えていく。 ・業務や行事の精選をはかることで、教職員が日々の教育活動に注力できる環境を整えたり、休暇を取得したりしやすい環境を醸成するための取り組みを進める。 <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりの日を週に1回設定・実施する。 ・長期休業（夏季・冬季）中に学校閉庁日を年間5日程度設け、一斉に休暇を取得できるようにする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【取組内容①】</p> <p>【取組内容②】</p>	
<p>次年度にむけての改善点</p>	
<p>【取組内容①】</p> <p>【取組内容②】</p>	